

SDGs推進人材育成事業

県立高校の推進校3校では、平成30年度から、本事業を実施しています。学校の特色や地域性を考慮してSDGsの達成のためのプログラムを作成し実践することで、SDGsを推進できる人材の育成を行っています。

西条高校では、商業研究部が大保木公民館と連携して、地元の方々から西条の山の生活について学ぶとともに、よもぎパン作りにも挑戦しました。地元の小学生たちとの交流も深めるなど、地域と連携した活動を行う中で、住み続けられるまちづくりを担うリーダーの育成を進めています。

北条高校では、「地域の人々が笑顔になる場所、元気になる場所」をコンセプトとしたミニ水族館「風早アクアランド」を活用し、自然環境に関するワークショップを行っています。これまでに、1000名を超える地域の幼稚園児や小学生を招き、水生生物を中心とした地域の自然の豊かさを発信しています。

宇和島水産高校では、仙台市の保育園児に対するリモート魚食教育や、宇和島ケーブルテレビと連携した料理番組の作成を行いました。また、9月末日まで、おさかな館にて、SDGs啓発活動のための水槽を展示しています。専門学科の特性を生かし、地元産業や地域に目を向け、持続可能な社会づくりに貢献できる人材を育成しています。

〔西条高校〕



〔北条高校〕



〔宇和島水産高校〕

